【タイトル】「やまぐち建設フェス！2026～来て見て触って楽しく学べる建設ものづくり～」を開催しました！

令和 8 年 10 月 4 日（日）、本協会は、山口県、やまぐち建設 21 の会と共に「やまぐち建設フェス！2026～来て見て触って楽しく学べる建設ものづくり～」を、山口市阿知須の道の駅きららあじす横広場で開催しました。

（協賛：国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所、同山陰西部国道事務所、西日本高速道路（株）中国支社山口高速道路事務所・周南高速道路事務所、山口市、防府市、山口職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山口）、徳山工業高等専門学校、山口県鳶土工連合会、山口県鉄筋工業協同組合、山口左官組合、山口県生コンクリート工業組合、山口県建設労働組合、山口県電気工事工業組合／後援：山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会）

このイベントは、建設産業の魅力を幅広い世代に発信し、将来の担い手確保につなげることを目的に毎年開催されています。

今年も「見て・触れて・体験」をテーマに、建設業のおしごと体験や建設機械の展示・試乗、さまざまな体験コーナーなどが用意され、多くの来場者でにぎわいました。

当日は途中小雨が降る場面もありましたが、家族連れを中心に過去最多となる約 6,000 人が来場。

会場にはショベルカーやダンプカーなど、普段なかなか間近で見ることのできない建設機械が大集合し、子どもたちは運転席に座って写真を撮ったり、実際に機械に触れたりしながら、建設現場ではたらく車を身近に感じていました。

また、国土交通省中国地方整備局の災害対策車両なども展示され、さまざまな「はたらく車」を間近で見ることができました。

会場には、かべぬり体験や鉄筋を使った遊び、レオナルドブリッジ、次世代足場の展望台体験、ペーパークラフト、ドローン操作体験、ネジうち体験、車両修理体験、降雨体験、重機のシミュレーターやラジコンなど、さまざまな体験・展示コーナーが設けられました。

各団体・企業が趣向を凝らしたブースを展開し、会場のあちこちで、子どもから大人まで建設業を「見て・触れて・体験」する姿が見られました。

今年は「大工体験」と「電気工事体験」が新たに登場。大工体験では、丸太を切り、自分で絵を描いてオリジナルのコースターを作る体験が行われ、子どもたちは楽しみながらものづくりに挑戦していました。電気工事体験にも多くの子どもたちが参加し、建設業の仕事を実際に体験しました。

本協会では、トライアロー社が開発した本格的なバックホウ操縦体験アプリ「重機で GO」を使った建設 VR 体験コーナーを設置。

子どもたちは真剣な表情で操作に挑み、まるで本当の現場にいるような迫力を楽しんでいました。

一方、「やまぐちけんせつ小町の会」ブースでは、建設機械の塗り絵を実施。好きな色で重機を彩りながら、楽しそうに取り組む子どもたちでにぎわいました。

両ブースでは、先着で建設重機のミニカーや PR 資料を配布。来場者に楽しみながら建設業への理解を深めてもらいました。

このほか、会場内を巡って楽しめるスタンプラリーも行われ、各ブースを回りながらスタンプを集める子どもたちの姿が見られました。

重機操作の技術を競う「バックホウ選手権」では、県内のオペレーターが参加し、建設機械を巧みに操りながら、その技術と正確さを競いました。会場からは競技を見守る多くの人が集まり、迫力ある操作に声援が送られました。

競技の結果は次のとおりです。入賞者には田宮土木建築部長から表彰状が授与されました。

バックホウ選手権 結果

1位　上重 智靖さん（藤本工業（株））
2位　前田 雅成さん（山陽建設工業（株））
3位　原田 遼一さん（(有）齊藤重機）
4位　上原 奈々さん（(株）川畑建設）
5位　木下 竜介さん（防長建運（株））
6位　網本 裕介さん（(株）川畑建設）

ステージではプレゼント抽選会が行われたほか、最後には餅まき・菓子まきも行われ、子どもから大人まで多くの来場者が参加。会場は大きな歓声に包まれ、イベントの締めくくりを盛り上げました。

やまぐち建設 21 の会 井原昌二会長（(株）井原組）は、
「今年は初めてダンプカーと来場された方との綱引きを実施しました。大変盛り上がって嬉しいです。たくさんの人に興味を持ってもらって、未来の担い手が増えてくれたらと思います。これからもイベントを続けていきたいです」と話されていました。

また、山口県土木建築部 田宮佳代子部長は、
「建設産業というと堅苦しい感じがするかもしれませんが、とても身近な職業なので、こういったイベントを通じて幅広い世代の方に興味を持っていただけると嬉しいです。これだけの重機が一堂に集まることはないですし、いろいろな団体・企業が趣向を凝らしたブースを出しているので、ぜひ楽しんでもらえたらなと思います」と話されていました。

多くの世代に建設業の楽しさや魅力を届ける「やまぐち建設フェス！」。本協会は今後も、県や関係団体とともに、未来の建設業を担う人材の確保・育成にもつながる建設業の魅力発信に取り組んでいきます。